

BRIDGE Summer Camp ホームステイ期間中の「学校登校」について

これから 7 月のこども大使・シャペロン受け入れに向けて準備を進めていくことになります。今回のホームステイ事業につきましては、**5 月 10 日（日）**のホストファミリー研修会にて詳しく説明をいたしますが、事前にお知らせ・ご理解いただきたいことを記載しております。内容をよくお読みいただき、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

Q：「学校登校」とは何ですか？

A：ブリッジ サマーキャンプのホームステイ期間中に、こども大使が、ホームステイ先の家庭のお子さん（ホストフレンド）と同じ学校に通い、同年代の日本の子ども達と交流しながら日本の小学校生活を体験することです。

「学校登校」によって、こども大使は自分と同年代のたくさんのこどもと交流したり、日本の小学校がどのようなところかを実際に知ることができ、彼らにとって非常に貴重な機会となります。また、同年代の海外のこどもと直接交流することは、日本のこども達にとっても、異文化交流や海外への興味・関心を持つきっかけになると同時に、受け入れ家庭のホストフレンドにとっても、こども大使との距離を縮めることができる大事な時間・経験であると考えています。

こども大使の「学校登校」の受け入れの可否については、各学校の任意となっておりますので、各学校に受け入れを強制することはできませんが、可能な限り学校にもご理解いただき、こども大使・シャペロンの学校登校が実現しますようホストファミリーのみなさまのご協力をお願いいたします。

※2 学期制などの理由により、ホームステイ期間前に終業式を迎えている場合は除きます。

**Q：学校にはどのように伝えればいいのですか？**

A：まずは、担任の先生に「7 月に、APCC のホストファミリーをする予定があるので、同年代のこども大使も一緒に『学校登校』させていただきたい」という旨をお伝えください。（過去にホストファミリーとなった方は、受け入れが決定した時点で担任の先生にご報告し、春の家庭訪問時に詳しいお話・ご相談をされたという方が多いです。）

5 月 10 日（日）のホストファミリー研修会にて学校登校依頼書を配布いたしますので、担任の先生経由で校長先生にご提出ください。APCC から、各小学校の校長先生に、こども大使受け入れについて協力を依頼する文書をお送りします。

過去にこども大使やシャペロンを受け入れた実績のある学校の場合はスムーズに行くことが多いですが、未経験の場合は学校側から色々な質問が出ると思います。分かる範囲でお答えいただき、わからないことに関しては、APCC 事務局の問い合わせ先をお伝えください。

（裏面に続きます）

Q：学校の受け入れが決まったら？

A：「学校登校」の目的は、「日本の小学校生活を体験すること」なので、基本的にはホストフレンドと一緒に行動し、同じ授業を受けます。学校側には、特別な時間割や歓迎行事を計画していただく必要はありません。学校の児童と同じように接していただければと考えております。

受け入れをしていただける場合、学校の先生がよく心配されるのが、「こども大使（シャペロン）が学校登校中にケガをしたり、物を壊したりした場合は、どうしたらいいのですか？」という質問です。福岡にやって来るとも大使・シャペロンは全員「海外旅行保険」に加入していますので、ケガや病気、物品の破損などについては保険で補償されます。学校やホストファミリーさんへの責任などは発生しません。

「学校登校」をお受けいただけた場合、時間割が午後まである日はこども大使も昼食が必要になります。学校に直接ご相談いただき、こども大使の給食をご用意いただける場合は、対応をお願いします。（大変恐れ入りますが、こども大使の給食費は各ホストファミリーで負担をお願いしております）対応が難しい場合、またメニューに禁制食（きんせいしよく／宗教によって食べられないもの）が多く含まれる場合は、大変お手数ですが、こども大使にお弁当を持参させるなどの対応をお願いいたします。



Q：シャペロン（引率者）も「学校登校」をするのですか？

A：滞在中、シャペロンはこども大使の保護者としての役割を担います。シャペロンの中には教育関係者も多いため、こども大使の様子を確認したり、また日本の小学校がどのようなところか知ってもらうために、こども大使たちが通うすべての小学校の様子を見に行ってもらおうようお願いいたします。（すべての小学校への見学が難しい場合でも、できる限り多くの小学校を見学いただきますようお願いいたします。）

もし、上記に加えシャペロンのホームステイ先のお子さんが通う学校にも一緒に登校する場合には、こども大使と同じように「学校登校依頼書」のご提出をお願いいたします。

海外からのこどもを受け入れることは、学校側にとっても有意義なものではありますが、学校や先生方のご理解・ご協力が必須となります。過去のホストファミリーの経験談では、「私たち（ホストファミリー）も協力するので、ぜひ学校登校の受け入れをお願いします、いう姿勢で臨んだ」、「お互いにわからないことも多いので、全て学校任せにするのではなく、一緒に協力していくことが大切だと感じた」との声が多く聞かれます。

「学校登校」はあくまでも学校側の〈任意〉となりますので、学校によっては全日受け入れが可能な場合もあれば、数日のみなら可能、あるいは受け入れは難しいというお返事をいただくこともあるかと思えます。学校の事情により受け入れが厳しい等のお返事をいただいた場合は、学校登校以外での過ごし方をご検討いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

APCC

NPO法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡